

北小木地区（多治見市）

【地域の概要】

- 犬山市境付近で五条川に合流する北小木川流域に属し、谷津地形上に展開されている農地は、約8haほど。
- 農用地は、その9割が田として利用されている。

取組開始前の状況や課題

- 地区の農地を保全している任意組織の役員が若返ったことで、保全活動の機運が高まりつつあった。
- 2年ほど前から遊休化している農地があり、猪の被害が出ていた。
- コメの生産割り当ての面積が不足していた。

取組内容

- 「人・農地プラン」等の座談会を開催し、担い手の確認と利用権設定の推進を話し合った。
- 利用権設定に向け、遊休農地の草刈り活動を実施することとし、遊休化し、猪の被害が出ていた3筆2,582㎡の田を再生した。



今後の展開と方向性

- 中山間地域等直接支払交付金の内容と活用するための体制づくり
- 地元農業委員による有害鳥獣駆除の体制づくり
- 今後は、今回再生した農地の周辺を中心に遊休農地解消活動を継続し、作付けの新たな試みや販路開拓なども含め話し合いを重ねていくこととしている。